

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
専門学校 未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日		田中 正吉		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日		理事長 青山 織人		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																						
工業	工業専門課程	クリエイティブデザイン学科				平成21年文部科学省 告示第22号	-																						
学科の目的	本学科では、様々な分野のデザイナー・クリエイターを目指すために必要な、知識及び技能を身に付ける。DTP、タイポグラフィ、広告制作、パッケージデザイン、イラストレーション、映像編集、WEBサイト制作等の多岐に渡る学習を通じて、色彩感覚や造形センスを養い、デザインツールの利用技術向上と実務に役立つデザインスキルの定着を目指す。																												
認定年月日	平成28年2月19日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	62	35	8	47	-	-																						
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
60人		31	0	2人	3人	5人																							
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価																								
長期休み	■学年始:4月1日～4月7日 ■夏季:7月29日～8月25日 ■冬季:12月22日～1月6日 ■学年末:2月28日～3月31日			卒業・進級条件	■進級条件: なし(単位制) ■卒業条件: 62単位以上取得																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携)			課外活動	■課外活動の種類 ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、学科研修旅行  ■サークル活動: 有																								
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 印刷、デザイナー、一般事務、製造など  ■就職指導内容 就職適性診断、職業レディネステスト、個別面談等をふまえたキャリアプランニング指導、就職試験(一般常識、面接)指導、模擬面接、就職ラリーの実施、企業情報提供、企業人・卒業生の講演など。 ■卒業生数 : 14 人 ■就職希望者数 : 14 人 ■就職者数 : 11 人 ■就職率 : 79 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 79 % ■その他			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>43</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td> <td>③</td> <td>43</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>Webクリエイター能力認定検定</td> <td>③</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Webデザイナー検定</td> <td>③</td> <td>16</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄 JAGDA学生グランプリ 入選 1名 海のPRポスター展 入選 3名					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Photoshopクリエイター能力認定試験	③	43	21	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	43	25	Webクリエイター能力認定検定	③	11	10	Webデザイナー検定	③	16	10
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																										
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	43	21																										
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	43	25																										
Webクリエイター能力認定検定	③	11	10																										
Webデザイナー検定	③	16	10																										
(令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																													

<p>中途退学 の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 3%</p> <p>令和2年3月31日時点において、在学者32名（令和4年3月31日卒業者を含む） 令和3年3月31日時点において、在学者31名（令和4年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>一身上の都合により</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用</p>
<p>経済的支援 制度</p>	<p>■学校独自の奨学金制度： 有</p> <p>特待生制度(学業優秀者への奨学金給付制度 入学時及び2年進学時) 資格・検定支援金制度 家族入学優遇制度 学費分納制度</p>
<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p>URL : <a href="http://www.mirai.ac.jp/mit">http://www.mirai.ac.jp/mit</a></p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

デザイン業界、CG・映像・クリエイティブ業界の求める専門知識・技術と即戦力を持ち、また現場が期待する総合的な人材像を職業人教育・人間力育成の柱として、学校と業界とが連携して教育を行う「産学協同教育」を教育の基本としている。また、人材育成のための授業方法や最適な科目構成を検討し改善するために、教育課程編成委員会を設置の他、様々な業界人の講演会を開催して、ヒアリング等これを活用して業界企業等からの要請や最新動向などを学科の教育活動に十分に取り入れることを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科は、委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを受けて、委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善」などを提言・助言する。委員会からの提言や助言を受けて、教務部は検討を行い、必要に応じて当該学科の「次学期・次年度の教育課程、授業内容の見直し」などを行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
溝口 諒	長野県デザイン振興協会 委員	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	①
高山 由利子	株式会社第一印刷 サポート室	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	③
栗田 梓	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科長		
清水 恵美	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 講師		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年10月29日 15:30～16:30

第2回 令和3年2月 中止

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

第1回において、非常勤講師と常勤講師間のコミュニケーションが円滑でなく、授業に支障がでるとのご指摘を受け、週1度ミーティングを開催することとなった。第2回の委員会はコロナ感染拡大防止のため中止となった。その点について、委員からはオンラインで対応しないのかと改善要求を求められ、次回以降の実施の際に検討することとなった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・業界団体等が講師契約を締結し、その連携のもと、企業が求めるレベルを実現する技術を学び、現場の社員の声を聞き、現場で適切に対応できる実践教育の機会を提供する。さらにデザイナー又はクリエイター職としての職業観・勤労観を育み、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業が毎年発行する年賀状見本のデザイン案の一部を学生にらせていただき、企業様の選考によって選ばれた作品が見本帳に掲載されるという案件と、同じく毎年自社の屋上で採取されるはちみつの販売用ラベルデザインを考案し、企業様へ納品している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
修了制作1	2021年丑年年賀状見本制作	株式会社第一印刷(安曇野市)
プロジェクト演習2	2021年春はちみつラベルデザイン制作	株式会社井上(松本市)

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・業界団体等が講師契約を締結し、その連携のもと、企業が求めるレベルを実現する技術を学び、現場の社員の声を聞き、現場で適切に対応できる実践教育の機会を提供する。さらにデザイナー又はクリエイター職としての職業観・勤労観を育み、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

未実施

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「SNSの危険性とその留意点」 (主催:セーフティネット総合研究所)

期間:令和2年4月5日(金) 対象:清水、栗田

内容:ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が普及し、コミュニケーションツールとして汎用する中で、安易な書込みがトラブルに発展したり、知り合い同士の空間であるという安心感を利用して詐欺やウイルスの配布を行う事例がある。SNSの危険性とその留意点についての情報を学生に指導するために受講する。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「デザインフェスタvol.54」(主催:デザインフェスタ株式会社)

期間:令和3年11月予定 対象:栗田

内容:日本に限らず世界のデザイナーやアーティスト作品に触れる貴重な機械であり、また現役芸大生のパフォーマンスや出品作品も見学できるため、今後の学生の制作活動のアドバイスに活かす。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「SNSの危険性とその留意点」 (主催:セーフティネット総合研究所)

期間:令和2年7月29日(水) 対象:栗田、清水

内容:ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が普及し、コミュニケーションツールとして汎用する中で、安易な書込みがトラブルに発展したり、知り合い同士の空間であるという安心感を利用して詐欺やウイルスの配布を行う事例がある。SNSの危険性とその留意点についての情報を学生に指導するために受講する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をもとに、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論および意見をもとに作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	特に記載なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

- ・保護者対象の説明会の継続を求める声をいただいた。これを受けて本年度も新入生保護者対象の学校説明会の継続と連携の強化を目標に掲げた。しかし、本年度は新型コロナ感染拡大の影響で保護者対象説明会を夏期にいったん延期したものの、収束の兆しがなく開催のメドは立たず、やむを得ず年末年始に学校ホームページ上でオンデマンド方式のWEB説明会を実施した。保護者連絡網の構築など、さらなる連携強化は今後の課題となったままである。
- ・各種の規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備の必要性についてご指摘いただいた。これを受けて本年度は規程の不備を洗い直し、必要なマニュアルの整備に向けて踏み出すことを目標に掲げた。しかし本年度は新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言を受けて休校に踏み切ったため、不足分のカリキュラム補てんに学校全体のパワーをシフトした影響で質保証に関わる各種の活動が制限されてしまった。この課題は次年度以降に繰り越さなければならない。
- ・教育の質保証のために授業評価は必須であるので必ず実施するようアドバイスいただいた。これを受けて本年度は学生による授業評価の結果により対象科目を絞り、授業参観などのチェック体制を順次構築していく計画であった。しかし、これも前項と同様の理由により今年度取り組むことはできず、次年度以降に繰り越す課題となった。
- ・学修成果としての各種試験合格率の向上や、各学科の成果を学校が積極的に発信していくことの重要性について改めてご指摘いただいた。これらの点について本年度も引き続き学校全体で努力を行い、一定の成果と社会からの評価をいただくことができた。
- ・卒業生への支援が手薄であるため検討が必要であるご指摘いただいた。これを受けて本年度は卒業生支援に関する研究を始める予定でいた。しかし、前々項と同様の理由により、次年度以降への繰り越しとなる。
- ・学習支援制度の無償ならびに給付型学生の募集開始にあたり、募集定員の見直しを計るべき段階に来たのではというご意見をいただいた。このため、本年度は各学科の募集定員を募集の実態に照らして見直しを計り、理事会にて学則変更を決議し届出を行った。
- ・教育の質保証のため教職員評価をしっかりと行うため評価基準・規程の整備を行うべきではないかとご指摘いただいた。これを受けて本年度から査定や評価の仕組みについて検討開始する方向であった。しかし、この課題も新型コロナ対策の影響を受け、次年度以降への繰り越しとなった。

## (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	学識経験者
矢内 和博	松本大学	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	学識経験者
西村 明美	株式会社たちばな	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
林 兵司	パン工房 ブール	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 放射線部 技師長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスチュール 店長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいと 代表	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
北村 理恵子	Dog Life Lien 事業主	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	企業等委員
田中 優子	卒業生同窓会 会長	令和2年10月1日～令和4年9月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

## (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

公表時期: 令和3年5月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

## (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。ただし、国際連携については、今後実施後に公表する。

## (2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

## (3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

## 授業科目等の概要

(工業専門課程クリエイティブデザイン学科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		情報リテラシー	インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されているOffice系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする。	1・2通	90	3			○	○	○			
	○		キャリアプランニング	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する。	1・2通	90	3	○			○	○			
	○		実務教養	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接客マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1・2通	60	2	○			○	○			
	○		総合演習	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1・2通	60	2		○		○	○			
○			ITリテラシー	パソコンOS (MacOS) の基本操作、Boot Camp、パソコン基礎知識、コンピュータの歴史と仕組み、パソコン周辺装置 (入出力装置) の種類と特徴について習得する。	1前	30	1	○	△		○	○			
○			ネットワークリテラシー	コンピュータネットワークの基礎知識を習得する。インターネットの基礎、ネットワークの設定と仕組み、メールの仕組み (POP、SMTP、MIME)、HTML、CSS、JavaScript、Ajax等理解を深める。	1前	60	2	○	△		○	○			
○			デッサン	ものづくりの基礎的な能力である「ディテールにこだわる」ことを身につけるため、1年間通して静物や人物のかき分け、また様々な表現手法を学ぶ	1前	60	2		△		○	○			
○			色彩&ラッピング	色彩検定2・3級の合格を目指す。色彩学の基礎を学び、合わせて作品展示に必要なディスプレイや製品のラッピングについて技術を学ぶ	1通	60	2	○		△	○		○		

○		デザインツール	あらゆるデザイン制作の道具であるAdobe IllustratorとAdobe Photoshopの基礎から応用まで、幅広く技術を習得する。実務レベルの課題をこなし、自由自在に使いこなせる力を身に付ける。	1通	120	4				○	○						○		
○		修了制作1	1年次に習得した基礎知識・技術を生かし、アートワークや広告制作、ポスター制作等を、産学連携授業として取り組む。実践を通じて、実務レベルでのスキルを習得する。	1後	30	1				○	○						○	○	
○		修了制作2	1年次に習得した基礎知識・技術を生かし、アートワークや広告制作、ポスター制作や動画・ゲーム制作に取り組む。1年間の総まとめとして、制作スキルの向上を図る。	1後	90	3				○	○						○		
○		プロジェクト演習1	制作実習。フリーペーパーの制作や外部から依頼のあった案件などを取り組み、分野にかかわらず、チラシ制作、Web制作、コンペ参加など幅広いクリエイティブ活動に取り組む。	2前	90	3				○	○							○	
○		プロジェクト演習2	企業連携授業の実施。外部のクライアントや製品制作担当者とのコミュニケーション、グループワークを通し現場で必要なスキルを総合的に実践・習得しスキル向上を図る。	2後	90	3				○	○							○	○
	○	アート・デザイン概論	デザイン基礎の理解と習得。デザイン史、視覚伝達デザイン、デザイン学、錯覚、書体基礎を学び、ピクトグラム制作、平面構成制作、創作フォント制作を通じて基本技術を習得する。	1前	60	2	○			△	○							○	
	○	イラストレーション	基本的な線画イラストの技術向上を図る。静物画を始め、抽象的なイメージイラストの制作を通し、表現の幅を広げる。	2前	90	3				○	○							○	
	○	WEBサイトデザイン1	Webサイト制作の基礎であるHTML、CSSを駆使して、レイアウトデザインの基本構成とWebデザインの技法を習得する。	2前 1後	60	2	○			△	○							○	
	○	WEBサイトデザイン2	JavaScriptなどのインタラクティブなデザインはもとより、PHPやWordPressなどサーバーサイドの技術も習得する。	2前 1後	90	3	○			△	○							○	
	○	映像／クラフト	映像アニメーション制作または各種機材を使用したクラフト造形を学ぶ。	1後	30	1				○	○							○	○

○	○	○	広告表現/カラーイラスト演習	印刷・出版・広告業界で仕事をしていく上で必要となる知識を、実習。コミックイラスト演習では1枚のイラストで物語が理解できるように躍動感のある構成を考えながら技術を磨く	1後	60	2	△	○	○	○						
○	○	○	DTPデザイン演習	DTPとエディトリアルデザインについて、演習を通じて実務レベルに繋がる基礎を習得する。	1後	60	2	△	○	○	○						
○	○	○	ブランディング	顧客にとっての企業価値を高める手法を、各種テーマに沿ったクリエイティブ作品、デザイン制作を通じて学ぶ。	2前	90	3	△	○	○	○						
○	○	○	3Dデザイン	製品ラベルやパッケージデザインまたコンペティションでの完成図などを提示する折に必要な3Dモデリングの技術を学ぶ	2前	60	2	△	○	○	○						
○	○	○	メディアデザイン	チラシやWeb以外の方法でヒト・モノ・コトを動かすためには何を伝えPRすべきかなどを学ぶ	2前	90	3	△	○	○	○						
○	○	○	エディトリアルデザイン	製本技術に特化した科目であり、専用のツール技術から1冊の冊子を仕上げるまでを学ぶ	2前	60	2	△	○	○	○						
○	○	○	ビジュアルデザイン	様々な製品のビジュアルについて研究し、実際に既存の製品のリデザインなどを手掛ける	2前	60	2	△	○	○	○						
○	○	○	マルチメディア	相互操作が可能なコンテンツの制作。たとえば小学生向けの学習教材などを音や文字、図形写真などでコンテンツをつくる	1後	90	3	△	○	○	○						
○	○	○	Webアニメーション	AnimateCCを利用し、Webバナーの制作から簡単な相互作用のあるコンテンツを制作する	2前	60	2	△	○	○	○						
○	○	○	アニメーション制作技法	CMなどに起用されるような実写とアニメーションが融合したコンテンツの制作など。専用のツールの使い方から、アニメーションの制作方法まで基礎から学ぶ。	1後	60	2	△	○	○	○						

○	アナログ表現技法	デッサンからの延長で水彩、スクラッチ技法など絵におけるさまざまな手法を学ぶ	2前	60	2	△	○	○	○						
○	プロフェッショナル	地元で活動するフォトグラファーやコピーライターまたは印刷会社の方を招いて数回授業を実施し、現場の雰囲気学ぶ	1後	30	1	△	○	○	○						
○	造形実習	木材加工やステンドグラス制作、樹脂造形などを通し、モノづくりの基礎を学ぶ	2前	30	1		○	○							○
○	業務演習	各自の就職先に応じた特に必要とされる知識・技術・検定取得・資格取得を目指す。学生の希望や能力に応じた効果的な学習を行う。	2後	60	2	△	○		○						○
○	卒業制作／総合実習	各自がテーマ設定し、技術の向上を目標に、2年間で学んだ知識や技術を集大成した自主的な制作を行う。総合的な技術（グラフィックデザインやコンテンツ制作に関する全般技術等）や知識を企業等で実践して行い、専門知識・技能の修得の基礎的知識	2後	450	9				○	○					○
○	パッケージデザイン	パッケージデザインにおけるマーケティング知識やパッケージの成り立ちについて学ぶ。コンペティションへの参加あり。	2前	90	3	△	○		○						○
合計			38 科目			1860 単位時間(			62単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：62単位以上の単位取得 履修方法：【必修科目】18単位，【選択必修科目】34単位 単位制履修に関する留意事項 ①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。